

インフラ整備70年 講演会(第31回) ～戦後の代表的な100プロジェクト～

東京湾アクアライン

～ 民間技術力を結集し、未経験の技術へ挑戦～

■ 講演プログラム

1. 計画概要
2. 設計施工概要と景観デザイン
3. 世界初、日本発の技術が拓いたアクアトンネル
4. クリティカルだった川崎人工島の建設
5. 整備効果と今後の展望
6. プロジェクトの総括

<講演者>

- 高橋 道生 元 日本道路公団 東京湾横断道路室長
舟崎 恒義 元 東京湾横断道路(株) 工務部長
金井 誠 元 (株)大林組 所長
金岡 稔 元 鹿島建設(株) 所長
高橋 知道 NEXCO東日本(株) 取締役
内田恵之助 元 東京湾横断道路(株) 代表取締役専務
遠藤 元一 東京湾横断道路(株) 代表取締役社長

写真提供；東京湾横断道路(株)



シールドマシン カッターフェイス (実物大)

2022年 **6月23日** (木) 講演会：15:00～17:00 (入室開始予定：14:40～)

場所：ZOOMウェビナーによるWEB配信

定員：1,000名

*本講演会は、建設コンサルタンツ協会CPDプログラムとして認定されております。
申込先：<https://www.icca.or.jp/infra70/20220623/>

東京湾の開発は明治44年から様々な構想を経て昭和36年、建設省で神奈川と千葉を橋梁またはトンネルで直結する道路の建設が打ち出された。昭和41年から横断道路の調査を開始し、昭和51年からは日本道路公団での種々の検討を経てトンネル・人工島・橋梁で構成される現在の構造が計画された。昭和60年の内需拡大に関する対策において民間活力を導入して建設することとなり、東京湾横断道路は我国初めての本格的な民活事業方式で実施されることとなった。

東京湾アクアラインは①約10kmの海底トンネルを当時世界最大口径のシールド工法で掘削する、②船舶航行の密な東京湾の最大水深30mの軟弱地盤上に2つの人工島を建設する、③海上に5kmの連続橋梁を建設すると言った前例のない難工事を民間の技術力を結集して解決し、航行安全、環境保全、景観検討、耐久・耐震性確保等、様々な分野の多くの専門家を結集して建設が進められ、以降の国内外道路トンネルプロジェクト等にも大きな影響を与えた。

この未知の技術に挑んだ記録を計画概要から整備効果・今後の展望まで報告する。

主催：(一社)建設コンサルタンツ協会

後援：(公社)土木学会

インフラ整備70年講演会(第31回)

東京湾アクアライン

～民間技術力を結集し、未経験の技術へ挑戦～

《講演者略歴》

高橋 道生	元 日本道路公団 建設第一部 東京湾横断道路室長
舟崎 恒義	元 東京湾横断道路(株) 工務部長
金井 誠	元 東京湾横断道路(株) 設計第一課長代理 元 (株)大林組 木更津南工事事務所長
金岡 稔	元 鹿島建設(株) 東京湾横断道路出張所長
高橋 知道	東日本高速道路(株) 取締役兼常務執行役員 管理事業本部長
内田恵之助	元 日本道路公団 常任参与 元 東京湾横断道路(株) 代表取締役専務
遠藤 元一	東京湾横断道路(株) 代表取締役社長

講演会 申し込み方法

- 無料（どなたでも申し込みできます）
- お申し込みは、建設コンサルタンツ協会HPより「インフラ整備70年」バナーをクリック頂き、「講演予定」のお申込みページからお願いします。

建設コンサルタンツ協会HP : <https://www.jcca.or.jp/infra70/20220623/>

(注意事項)

- お申し込みは先着順となります。定員に達し次第、締め切らせていただきます。
- 申込後に完了通知メールが送付されます。送付されない場合はメールアドレスに不備がありますので、再度、申込手続きをお願いします。
- ZOOM入室URL（事前登録用）は講演当日の2日前までに送付させていただきます。
- ご提供いただいた個人情報には本講演会のみで使用し、第三者には提供しません。
- 許可なく講演内容の録画・録音による転用等をご遠慮頂きますようお願いいたします。

問合せ先 E-mail : infra70@jcca.or.jp

「インフラ整備70年」講演の目的

20世紀後半から今日までの70年間は、我国のインフラ整備事業が最も広汎かつ大規模に進められた時期であり、現在の我国社会が享受しているインフラサービスの過半がその時期に新たに整備されたり大改良を加えられたりした事業の成果そのものであるとあって過言ではありません。それらの事業の記録はさまざま形で残されていますが、それに関わった人々の声を聴く機会は少なくなっています。

今般、（一社）建設コンサルタンツ協会では、戦後のインフラ整備事業の代表的な事例に直接、間接にかかわった方々からその経験や見聞を講演していただき、それを記録することで、インフラ整備の意義や携わった人々の偉業を、コンサルタント技術者にはもちろん、広く一般社会に伝えたいと思っています。

そのため、（一社）建設コンサルタンツ協会本部に「戦後インフラ整備事業研究会」を設置し、各種の事業の中から100プロジェクトを選び、インフラストラクチャー研究会の協力を得て、それらについての講演会を開催するものとしました。

*建設コンサルタンツ協会では、これまでの講演記録及び今後の予定を協会HPにて公開しています。また、各講演会の記録は、協会広報誌“Consultant”別冊として発行予定です。

< 次回講演会予定 >

第32回講演会 2022年7月27日(水) 15:00～17:00

「太田川放水路事業 ～原爆等の戦禍を超えて広島発展の礎に 戦後に引き継がれたインフラ整備～」

講演者：高橋 政則	国土交通省中国地方整備局河川部長
平野 明德	国土交通省中国地方整備局太田川河川事務所長
藤岡啓太郎	広島市都市整備局長
中村 良夫	東京工業大学名誉教授
北村 眞一	山梨大学名誉教授

場 所：ZOOMウェビナーによるライブ配信